

令和2年度の実施状況

令和2年度の実施状況

- 令和2年度第1回減災対策協議会において、令和2年度の各機関の実施予定を整理しており、本資料では、各機関の主な実施状況について報告する。
- 各機関の具体的な取組状況については、次ページ以降に示す。

機関名	令和2年度当初予定（主な実施予定）	令和2年度実施状況
国土交通省 浜田河川国道 事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校における防災教育の実施 ・ 企業向け水害（防災）教育の実施 ・ 多機関連携型タイムライン運用及び検証・見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡易型河川監視カメラの整備（4箇所） ・ 郷田小学校（4年生）を対象とした防災授業 ・ イズミ・ゆめタウン江津の職員を対象とした水害に関する防災講座 ・ 多機関連携型タイムラインの運用結果の検証を踏まえ、“水防団からの氾濫発生に関する情報提供”の追加や簡易版の作成を実施
松江地方気象台	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大雨警報・注意報（浸水害）、洪水警報・注意報基準の見直しを今年度実施し、今後も調査を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 洪水危険度分布の改善（本川の増水に起因する内水氾濫の危険度を確認可能。 ・ 洪水予報〈臨時〉の発表開始。 ・ 土砂災害における短時間指標による大雨特別警報の運用開始。 ・ 大雨警報（浸水害）、洪水警報等の基準見直し。 ・ 大雨特別警報の発表基準を雨を要因とする基準に一元化。 ・ 5日先までの高潮の警報級の可能性について、わかりやすいバーチャートを用いた図形式で提供。 ・ 24時間以内に台風が発達する見込みの熱帯低気圧の予報をタイムリイ支援のため「5日先まで」に延長。 ・ 気象庁HPの台風情報を14か国語で提供。
島根県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民の水防災意識の向上に資する防災教育の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危機管理型水位計3基、簡易型河川監視カメラ19基を整備。 ・ 県・市町村職員向け水防研修会の実施 ・ 自主防災組織リーダー研修会の実施 ・ 新聞広報による情報発信 ・ 保育園児等を対象とした防災学習会

令和2年度の実施状況

- 令和2年度第1回減災対策協議会において、令和2年度の各機関の実施予定を整理しており、本資料では、各機関の主な実施状況について報告する。
- 各機関の具体的な取組状況については、次ページ以降に示す。

機関名	令和2年度当初予定（主な実施予定）	令和2年度実施状況
江津市	<ul style="list-style-type: none"> 避難勧告等の発令範囲の区域設定を検討する 要配慮者利用施設に対する避難確保計画の作成支援や定住外国人に対する研修会を行う ハザードマップの作成過去・事業所へ配布 小中学校と連携し、防災教育の普及を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 一部地域で見直し 要配慮者利用施設に対する避難確保計画の作成支援を実施 R2年度中に作成・配布予定 出前講座により小中学校と連携し、防災教育を実施（計8回）
川本町	<ul style="list-style-type: none"> 要配慮者施設の避難計画作成に向けて支援、協議を行っていく ハザードマップの作成過去・事業所へ配布 小学校、中学校、高校での出前講座、自主防災組織向けの防災学習会を実施予定 	<ul style="list-style-type: none"> 避難確保計画全施設作成済み 令和2年9月に配布 川本小学校における防災授業の実施（令和2年10月15日）
美郷町	<ul style="list-style-type: none"> 要配慮者利用施設の避難計画策定の支援を行う 防災教育等においてイメージ動画の活用を検討 排水訓練の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 未策定の事業所について相談と指導を実施 地区防災計画策定支援研修をオンラインで実施 内水排除用ポンプの整備及び水防団を対象とした研修会の開催
邑南町	<ul style="list-style-type: none"> 新たな地域緊急避難場所の選定を実施 土砂災害特別警戒区域の指定を踏まえ作成予定（H32年度以降） 各地区で防災学習会を実施予定（住民対象） 	<ul style="list-style-type: none"> 新たな地域緊急避難場所を選定中 今年度指定完了予定のため、来年度（R3年度）に作成・配布を実施 R2.9.1に石見養護学校、石見東小学校にてそれぞれ防災学習会の実施

国土交通省
浜田河川国道事務所

【概要】

令和元年度の実施状況について、各機関のソフト及びハード対策の取組を共有した。また、令和2年度の取組予定として、「住民向け防災計画作成支援(マイハザードマップ及びマイタイムラインの普及)、小学校を対象とした防災教育資料の普及、外国人への防災講座の運営支援、企業向け防災教育支援ツールの検討及び作成、排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施、多機関連携タイムラインの実施方針」について共有を行った。

さらに、既存ダム洪水調節機能の強化を図るために開催した**ダム部会の概要及び締結した治水協定の共有**、**昨年の令和元年東日本台風を踏まえて、従前より一歩踏み込み、河川対策に加え、流域対策(集水域と氾濫域)と、ソフト対策を盛り込んだ「流域治水プロジェクト(仮称)」**について情報を共有した。今後のスケジュールについては、幹事会や担当者会議により協議を行い、次回の協議会で報告する。

開催日・場所: 書面開催

【主な意見(意見照会)】

(1) 令和元年度の実施状況・令和2年の実施予定

・特に意見無し。

(2) ダム検討会その後の経過

【江津市】

・浜原ダムの効果等については地元説明も行っていただきたい。

【邑南町】

・広島県側のダム放流情報や上流側の河川水位の情報が重要である。

【美郷町】

・広島県側のダム貯留効果は大きいと思う。

(3) 流域治水プロジェクトについて

【美郷町】

・「水害に強い地域づくりのための移転集約WG(仮称)」については、一般論ではなく、自治体ごとに、個別に具体的な議論を行うことがよいと考える。例えば、コンパクトシティといった考え方は、地域によっては、高齢者が別転地に移動すること等困難である。

令和2年度 第1回	
江の川水系(下流)大規模氾濫時の減災対策協議会	
(書面会議)	
議 事 次 第	
1. 開会	
2. 議事	
(1) 令和元年度の実施状況について	P2
(2) 令和2年度の実施予定について	P30
(3) ダム検討会その後の経過(協定締結)	P37
(4) 流域治水プロジェクトについて	P53
(5) 今後のスケジュール	P62
3. その他	

※この協議会で対象とするのは川水系(下流)とは、一般水系以外の川のうち、美郷町内の川を指す。

令和2年度第1回江の川水系(下流)減災対策協議会
議事次第

【概要】

令和2年度の実施状況について、ソフト及びハード対策について各機関の取組を共有した。また、令和2年7月豪雨被害等を踏まえて実施した「令和2年出水期後の振り返りについての意見交換会」について、意見交換会で挙げられた意見や今後の対応方針について共有した。

さらに、減災対策協議会は、今年で目標としていた5年目を迎えることから、今後の新たな取組方針を検討し、次回の減災対策協議会で提示することを説明した。

開催日・場所：書面開催

【主な意見(意見照会)】

江津市

・これからも引き続き、防災学習等の住民への啓発活動を続けていく。

川本町

・基準観測所でわかる地先氾濫水位の目安や道路冠水発生予測図は役に立つ。
・5月に予定されている減災協は、対面方式かテレビ会議方式でお願いしたい。

美郷町

・減災対策協議会は、一堂に介して、顔が見える方が良い。

邑南町

・上流の状況を踏まえた河川水位の予想資料はわかり易かった。
・ハード整備には限界があると認識しているため、来年度の取り組みとしては、マイ・タイムラインに力を入れる予定である(町内の防災士を中心に展開する予定)。

益田市

・氾濫の定義は分かり易く、決壊や越水の意味が理解出来た。

浜田河川国道事務所

・来年度以降に、統一河川情報システムで、中電ダムについても放流量等の情報が表示される予定である。
・上流の状況を踏まえた河川水位の予想、基準観測所でわかる地先氾濫水位の目安等については、高津川でも作成中である。

令和2年度 第2回
江の川水系(下流)・高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会

議 事 次 第

日 時：書面開催

1. 開会

2. 議事：

(1) 令和2年度の実施状況について…………… P2

(2) 令和2年度出水期の振り返り…………… P45

(3) 今後のスケジュール…………… P55

3. その他

※この協議会で対象とする江の川水系(下流)とは、一級水系江の川のうち、島根県内の江の川です。
※この協議会で対象とする高津川とは、一級水系高津川のうち、高津川、高津川流川、高津川、自上山の産林野管理区を指す。

令和2年度第2回江の川水系(下流)・高津川水系大規模氾濫時の減災対策協議会 議事次第5

【概要】

江の川では、今年の7月13日～14日の出水（以下、令和2年7月豪雨とする）において、氾濫発生や浸水被害等が発生した。令和2年7月豪雨での経験を踏まえ、今後の災害対応について、江の川の関係機関で課題や今後連携したいことなどの情報共有や意見交換をすることを目的に「令和2年出水期後の振り返り」を開催した。意見交換では、情報共有の方法など今後の関係機関の連携に寄与する意見交換が行われた。今後のスケジュールについては、担当者会議や幹事会、協議会で意見交換結果を報告する。

【主な意見】

令和2年7月豪雨等での課題や今後連携したいこと

【江津市】

- ・災害対策本部の人員不足もあり、島根県総合防災情報システムへの入力に課題があった。

【川本町】

- ・川本水位観測所の水位が何mになったらどこが浸水するか事前に把握したい。

【美郷町】

- ・現在は、様々な情報がインターネット上で入手できるが、これらの情報をどのように分析して、各種判断に活かすかが難しい。

【邑南町】

- ・水位予測の情報を市町でも確認できるようにしたい。
- ・氾濫発生情報発表地区をもう少し小さくして運用してほしい。

【島根県】

- ・浜田河川国道事務所で操作している樋門や排水ポンプ車出動のタイミングなどがわかれば参考にしたい。
- ・島根県総合防災情報システムについて、研修等による入力支援を実施していく。

開催日：令和2年10月22日（木）

場所：浜田河川国道事務所 会議室

参加機関：江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県（防災部、土木部、県央県土整備事務所、浜田県土整備事務所）、松江地方气象台、浜田河川国道事務所

※本会議は、検温、アルコール消毒、アクリル板設置等の新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施したうえで開催



令和2年出水期後の振り返り 意見交換会の状況

【概要】

令和2年10月22日に開催した「令和2年出水期後の振り返り意見交換会」の意見の再確認と事務局で整理した今後の対応案について、関係機関の担当者と確認した。また、減災対策協議会における国土交通省の取組状況（防災教育や他機関連携タイムライン）の紹介や今後の予定についての報告を行った。

【主な意見】

【江津市】

- ・災害時に防災情報システムの入力の支援のために、県職員を派遣していただきたい。防災情報システムに入力するために、どのような情報を収集すべきかも事前の研修でおしえていただきたい。

【川本町】

- ・浜原ダム放流量は、引き続き、公表の検討をお願いしたい。
- ・災害時に、収集する情報がかなり多いため、情報共有サイトの整備も強くお願いしたい。

【美郷町】

- ・自主防災組織や自治会への説明のために、1/30規模や1/50規模などの中規模の浸水をイメージできるような、ソフト対策強化に資する資料がほしい。

【島根県】

- ・災害時に、電話で何度も情報をやりとりする負担を減らすためにも、情報収集サイトの整備は是非お願いしたい。
- ・既存情報の活用については、島根県も国交省も防災関係のポータルサイトは作成済みであるため、再周知を行ったうえで、必要な情報のみを集約したサイトができるとうい。

【国交省】

- ・減災対策協議会では、今後の5年間の取組方針を再検討し、新たな取組方針を作成する予定である。

開催日：令和2年12月22日（火）

場所：浜田河川国道事務所 会議室※1

参加機関：江津市、川本町、美郷町、邑南町、島根県（防災部、土木部、県央県土整備事務所※2、浜田県土整備事務所）、松江地方気象台、浜田河川国道事務所

※1本会議は、検温、アルコール消毒、アクリル板設置等の新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施したうえで開催

※2会議当日は別件のため欠席であったが、事前に資料の意見照会を実施

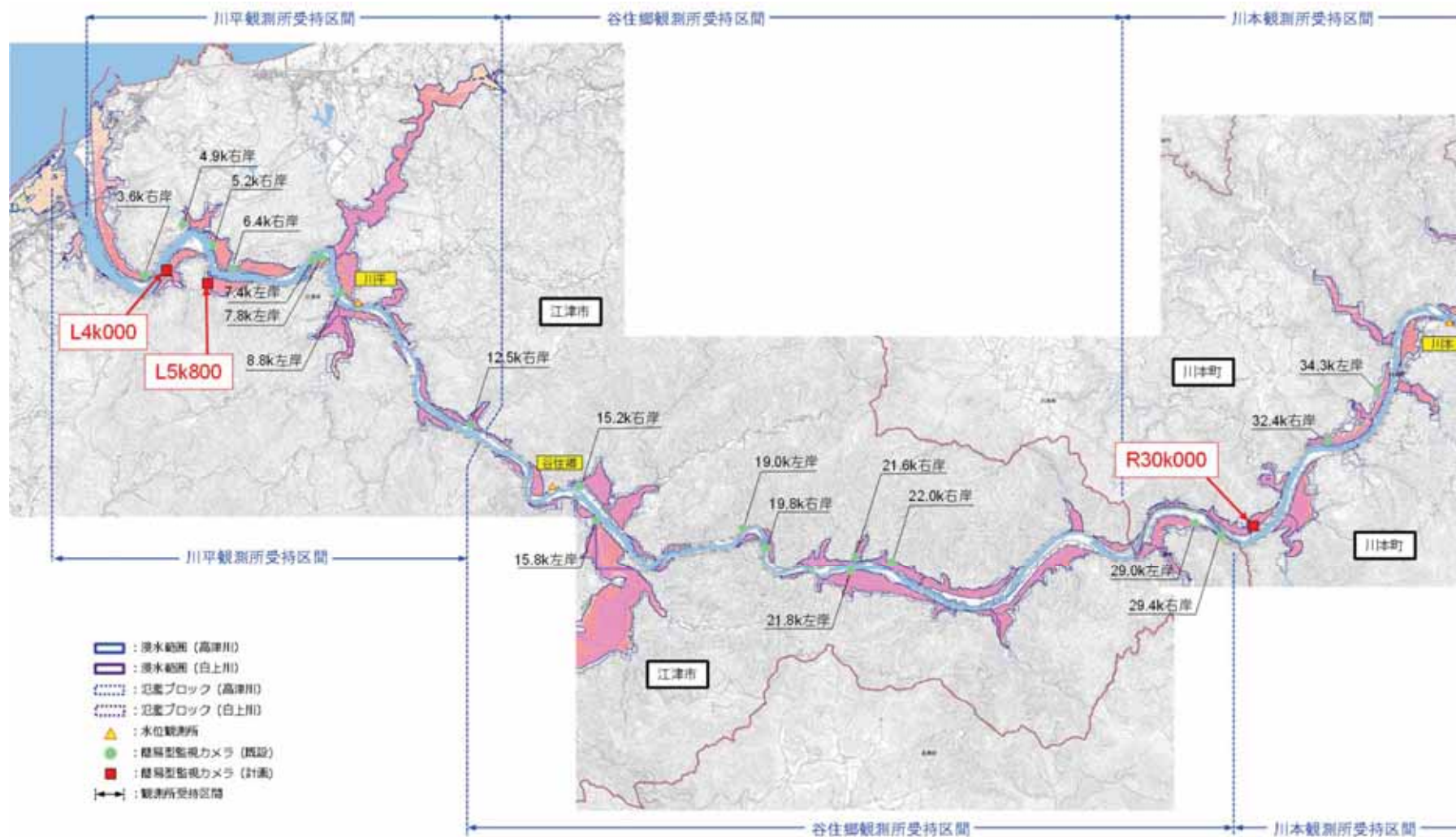


令和2年出水期後の振り返り 意見交換会の状況

■洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備

【簡易型河川監視カメラの設置】

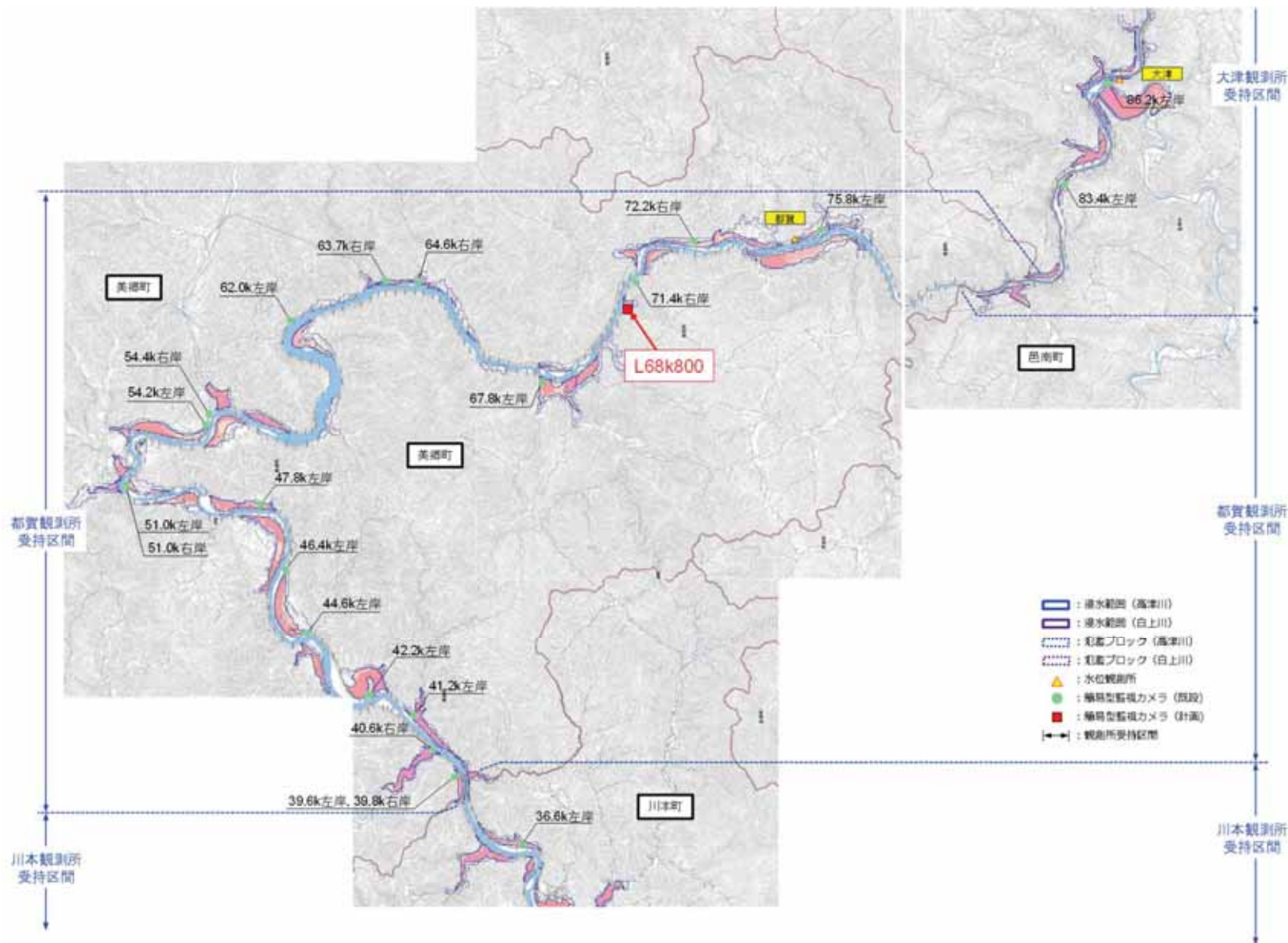
○令和2年7月豪雨による氾濫を踏まえ、4箇所（L4k000、L5k800、R30k000）に簡易型河川監視カメラを整備。



■洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備

【簡易型河川監視カメラの設置】

○令和2年7月豪雨による氾濫を踏まえ、4箇所（L68k800）に簡易型河川監視カメラを整備。



■防災教育の促進:防災教育に関する支援を実施する学校を教育関係者等と連携して決定し、防災教材資料の作成と出前講座の実施 【防災授業(出前講座)実施:郷田小学校】

- 教員の意向に沿い、小学4年生を対象とした授業に活用できる防災教材を作成し提供した。
- 出前講座では、昭和47年洪水・令和2年7月豪雨で氾濫した江の川の写真や、堤防決壊の映像等により、水害のおそろしさを伝えた。また、クイズにより大雨のときに自分でできることを考え、発表した。



<職員による出前講座の実施状況>



<質問やクイズによる生徒の発言状況>



■作成した教材

■身近な江の川は氾濫する

令和2年7月豪雨でも、おそろしい水害が起きたことを学ぶ



■私たちと江の川

川の恩恵と伝統を堤防で守り、江の川と共存していくことを学ぶ



■防災教育に関する協議

- 令和2年 8月5日 第1回協議 授業内容、今後のスケジュール (授業資料は、メール等により適宜確認)
- 令和2年 9月25日 第2回協議 授業資料の最終確認
- 令和2年 9月30日 防災授業 (出前講座2コマ)

■大雨のときにできること (生徒の意見)

- ・水が増えて危ないので、雨が降っているときは川には行かない。
- ・避難場所を探す間に逃げ遅れるかもしれないので、先に決めておく。
- ・洪水になって家が水に浸かったら困るので、早めに準備しておく。

■講座での生徒の様子 (先生のご感想)

児童の実態や学習の流れに合わせた資料を作成していただき、子ども達は江の川と水害について、より身近に捉えることができました。いつも目にする場所も被害にあったことがよくわかったと思います。

■多様な主体による被害軽減対策に関する取組：民間企業における水防災意識向上のための情報提供 【水害を対象とした防災講座：イズミ・ゆめタウン江津】

○ゆめタウン江津は浸水想定区域内ではないが、江津市内の浸水想定区域の説明を行うとともに、昭和47年洪水・令和2年7月豪雨で氾濫した江の川の写真を提供し、従業員の水防災に対する意識啓発を行った。
○店長様より、自分の命は自分で守り、災害時の店の役割の重要性についてのコメントがあった。



<会場全体の様子>



<職員による出前講座の実施状況>



<店長様による総括>

■ 作成した教材

- 令和2年7月豪雨資料
- 浸水深の説明資料

■ 段階的に発表される警戒レベル等の説明資料

■ 防災情報の入手方法

■ 開催案内チラシ

『水害に備える防災講座』
～ 誰かの命と大切なお客様のために ～

【日時】2024年11月27日【会場】10:00～11:00
【参加者】23名
【当日のスケジュール】10:00 開会
10:05 防災講座
10:55 閉会

■ 当日の予定
10:00 開会
10:05 防災講座
・江の川の水害を知
・水害のかもしれない場合の行動を知る
10:55 閉会

■ 実施日及び時間：
令和2年11月27日（金）10:00～11:00

■ 参加者：23名

■ 当日のスケジュール：10:00 開会
10:05 防災講座
10:55 閉会

■ 店長様からの総括コメント

- 人命第一、命を守る行動が大事であり、命があればなんとか復興できる。
- ショッピングセンターとして、地域の中で食料品・衣料品を提供するという社会的責任を果たす必要がある。
- 江の川の水害は、近い将来必ず起きると思って日頃からの備えをしましょう。

- 令和2年度の出水期におけるタイムラインの運用状況や関係機関の活用状況等を踏まえ、タイムラインの見直しを行うために、関係機関へアンケート調査を実施。
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からタイムライン検討会は、書面開催としており、現在、アンケート結果を踏まえた、修正方針について、関係機関へ意見照会を実施。

■タイムラインの運用状況と課題

➢ 令和2年7月豪雨では江の川で氾濫が発生し、タイムライン運用ではレベル5以降まで移行し、**関係機関へレベル移行のメール配信を実施**した。但し、水位上昇が早く、高津川でも同時にメール配信を実施していることもあり、**一時、配信が遅延**。

■関係機関の活用状況と課題（令和2年出水期の振り返りアンケート）

- ① 19機関が出水時にタイムラインを活用した。
- ② 一方で、**令和2年7月豪雨のような洪水では、行動項目の多いタイムライン詳細版での対応は困難(煩雑)である(63%)**。

■課題への対応例

【タイムライン運用の課題への対応】

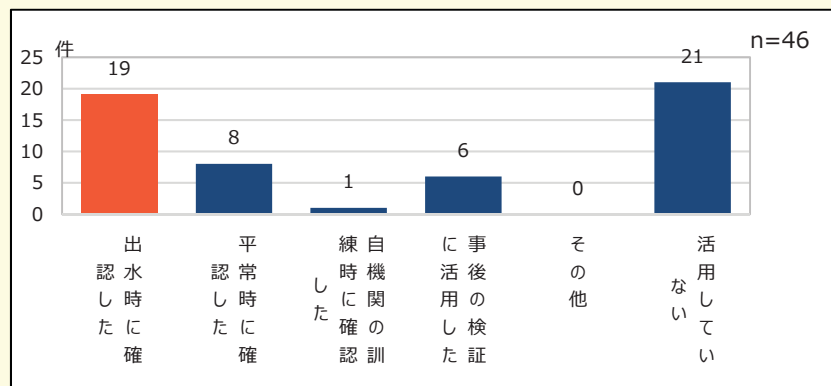
メール配信に頼らず関係機関がタイムラインの状況を確認できるようなwebサイト等の仕組みについても構築。
 (※タイムラインに関する情報を収集・確認できるwebサイト等があれば活用したいとの意見もアンケートで多く挙げられた)

【タイムライン活用の課題への対応】

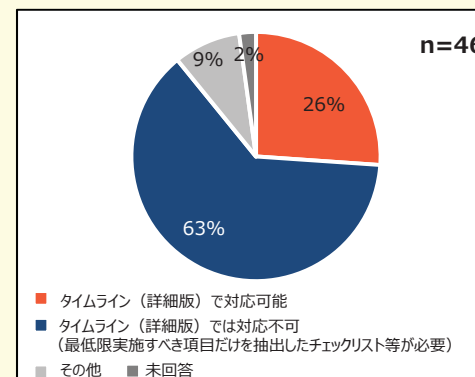
タイムライン詳細版のみでは困難(煩雑)との意見から、**最低限実施すべき項目だけを抽出**した分かりやすい簡易版等を作成。

＜振り返りアンケート調査結果例＞

①タイムラインの活用状況を教えてください（複数回答）。



②令和2年7月豪雨のようなタイムラインレベルの移行（水位上昇）が早い洪水で、タイムライン詳細版で行動確認は可能でしたか（活用していない方は想定で回答）。



松江地方气象台

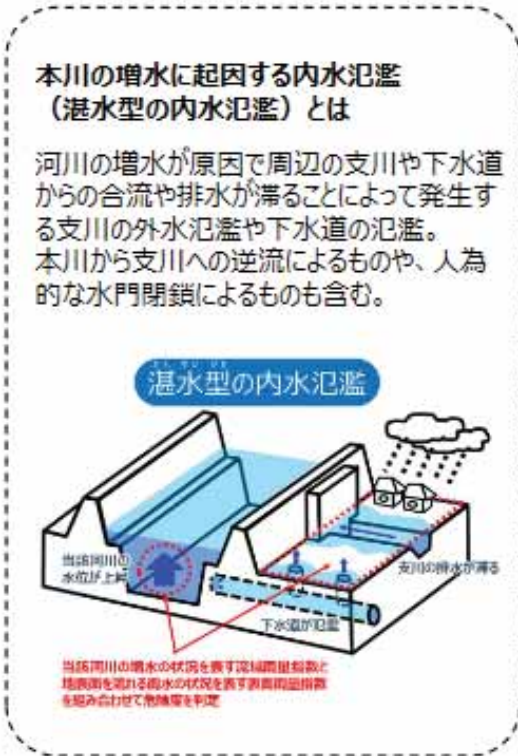
■ 避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

「危険度分布」で本川の増水に起因する内水氾濫の表示を改善

【令和2年5月28日より実施】

▶ 「危険度分布」において「本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）の危険度」も確認できるよう、本川流路の周辺にハッチをかけて危険度を表示するように改善。



■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

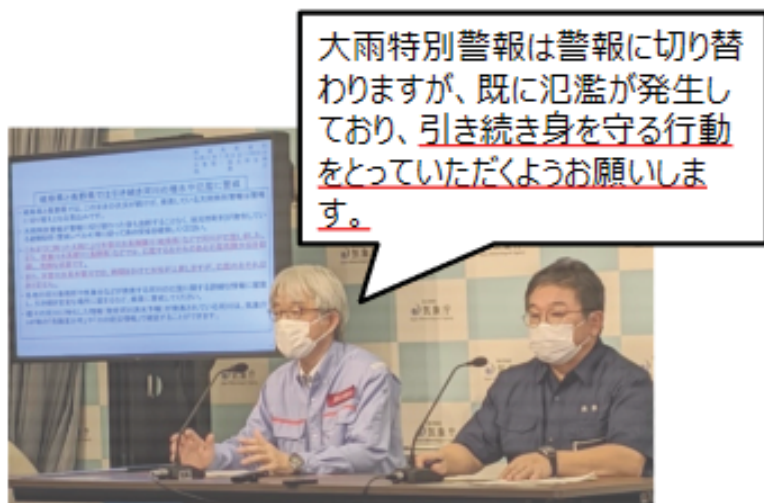
【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

大雨特別警報の警報等への切替後の河川氾濫への注意喚起

【令和2年出水期より実施】

- 令和元年東日本台風における検証を踏まえ、今年度より大雨特別警報解除後の注意喚起のため、水管理・国土保全局と気象庁の合同会見を実施するとともに、河川氾濫に関する情報を発表することとした。
- 令和2年7月豪雨においては、熊本県等に発表されていた大雨特別警報の大雨警報への切替に先立って、合同記者会見を計3回開催。また、今後の水位上昇の見込みなど河川氾濫に関する情報を発表し、引き続き警戒が必要であることの注意喚起を行った。

水管理・国土保全局と気象庁との合同記者会見



河川氾濫に関する情報（球磨川の例）

熊本県の大雨特別警報は大雨警報に切り替わりましたが、球磨川では今後も氾濫に警戒が必要です。

熊本県の大雨特別警報は大雨警報に切り替わりましたが、球磨川の洪水はこれからも警戒が必要です。天候が回復しても、氾濫が発生するおそれがあるため、洪水への一層の警戒が必要です。

球磨川では、**氾濫発生情報(警戒レベル5相当情報)**を発表中です。

河川名	水位観測所	水位状況	今後の見込み
球磨川	球磨 (熊本県八代市)	氾濫発生中	水位上昇中。まもなく最高水位
球磨川	大野 (熊本県球磨郡球磨村)	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川	石川 (熊本県球磨郡石川町)	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川	入吉 (熊本県入吉市)	氾濫発生中	水位は横ばい
球磨川	一武 (熊本県球磨郡一武町)	氾濫発生水位超過	水位は横ばい
球磨川	多良木 (球磨郡多良木町)	氾濫発生水位超過	水位は横ばい

■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

大雨特別警報の発表指標の改善（変更点）

【令和2年7月30日より全国的に運用開始】

発表指標		50年に一度の値 <5kmメッシュ>			危険度分布の技術（指数） <1kmメッシュ>				
		48時間降水量	3時間降水量	土壌雨量指数	最大危険度（濃い紫）		新たな発表指標における基準値に到達した格子		
					土砂災害	浸水害 又は洪水	土砂災害	浸水害 又は洪水	
これまで	長時間指標	土砂災害	50格子	-	50格子	出現	-	-	-
	長時間指標	浸水害	50格子	-	50格子	-	出現	-	-
これまで	短時間指標	土砂災害	-	10格子	10格子	出現	-	-	-
	短時間指標	浸水害	-	10格子	10格子	-	出現	-	-

短時間指標（土砂災害）を改善

改善後	長時間指標	土砂災害	50格子	-	50格子	出現	-	-	-
	長時間指標	浸水害	50格子	-	50格子	-	出現	-	-
改善後	短時間指標	土砂災害	-	-	-	-	-	10格子	-
	短時間指標	浸水害	-	10格子	10格子	-	出現	-	-

新たな短時間指標（土砂災害）

過去の多大な被害をもたらした現象に相当する土壌雨量指数の基準値を地域毎に設定し、この基準値以上となる1km格子が概ね10個以上まとまって出現すると予想され、かつ、さらに雨が降り続けると予想される場合、その格子が出現している市町村等に大雨特別警報（土砂災害）を発表。

※令和2年12月9日時点で43都道府県において新たな短時間指標（土砂災害）を運用中。その他の地域では、新たな短時間指標（土砂災害）の運用を開始するまでの期間は従来の指標を運用。

■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

「危険度分布」等の発表基準の改善

【松江地方気象台では、令和2年8月6日より運用開始】

- 最新の災害データを用いて基準値の妥当性を確認し、基準の見直しを実施。
- これにより、住民の自主的な避難判断や、市町村の避難勧告等の発令判断がより適時・的確にできるよう、警報・注意報や危険度分布の精度が改善。
- 今後も全国の気象台において、継続的に基準値の見直しを実施する予定。

令和2年に基準値を見直した市町村数（全国）

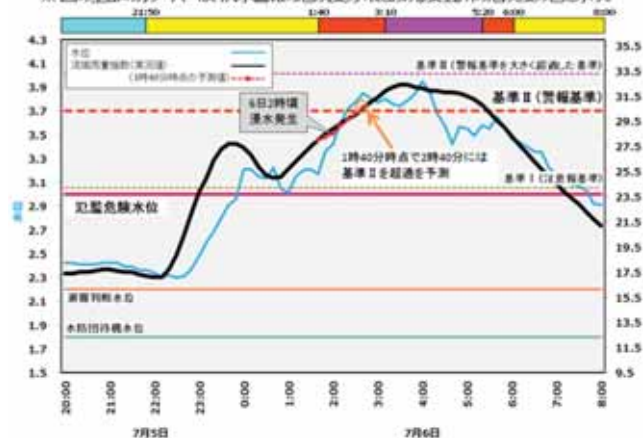
大雨警報（土砂災害）、大雨注意報、大雨警報（土砂災害）の危険度分布の基準値	7県181市町村
大雨警報（浸水害）、大雨注意報、大雨警報（浸水害）の危険度分布の基準値	29道府県119市町村
洪水警報、洪水注意報、洪水警報の危険度分布の基準値	47都道府県 1,657市区町村 (7,736河川※)

※主要な河川の変更数

○先進事例紹介
「水位データも活用した
洪水警報の基準値の見直し」
～高知県安芸市安芸川の例～

※島根県内河川における右記手法の導入は未定です。

流域雨量指数と河川水位（栃ノ木）の時系列
※図の上部のカラーバーは、洪水警報の危険度分布における安芸川の危険度の色を示す。



地元関係機関との連携のもと、水位データも活用した新たな設定方法による洪水警報基準の見直しを実施。

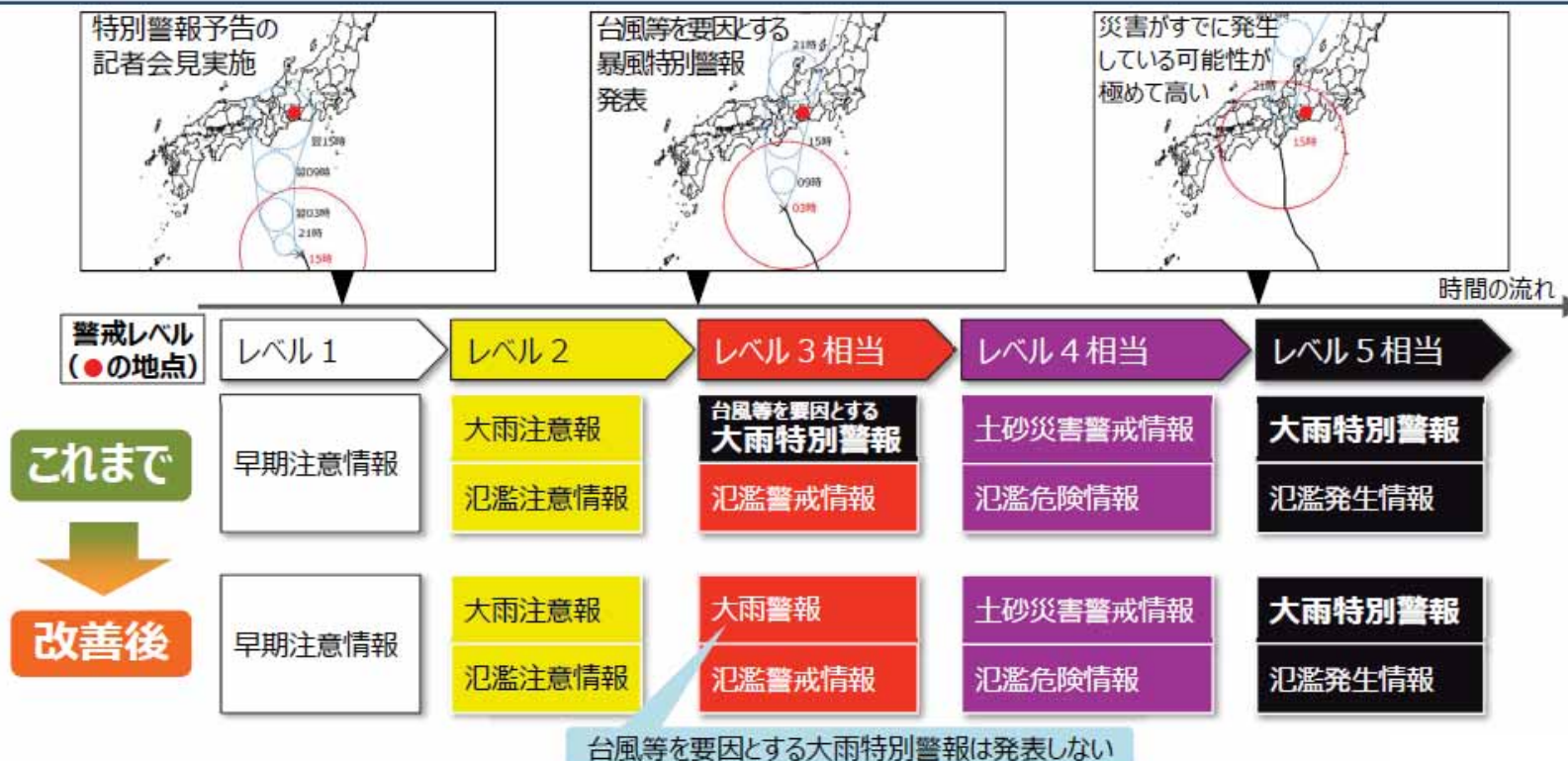
■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

大雨特別警報と警戒レベルの関係の改善

【令和2年8月24日より実施】

- ▶ 大雨特別警報のうち、台風等を要因とするもの※を見直し、何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い（警戒レベル5相当の）雨を要因とするもののみとする。※台風等の中心気圧や最大風速の発表基準によるもの
- ▶ 伊勢湾台風級の台風が上陸するおそれがある場合には、早い段階から記者会見等を開催するとともに、24時間程度前に開催する記者会見において、台風の接近時の暴風や大雨等による災害に対して極めて嚴重な警戒が必要であることを呼びかける。



※気象業務法第十三条の二第一項の規定に基づき、特別警報の基準（平成二十五年気象庁告示第七号）の一部を改正

■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

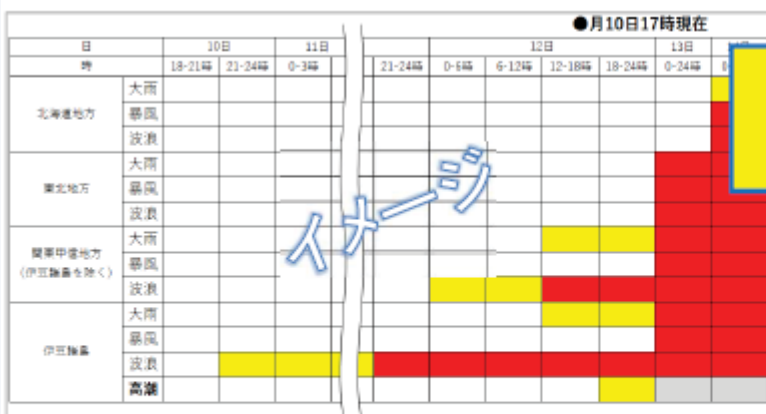
数日先の高潮の警報級の可能性をバーチャートで提供

【令和2年8月26日開始】

- 高潮災害への心構えを早めに高められるよう、5日先までの高潮の警報級の可能性を用いてバーチャートを延長して提供。

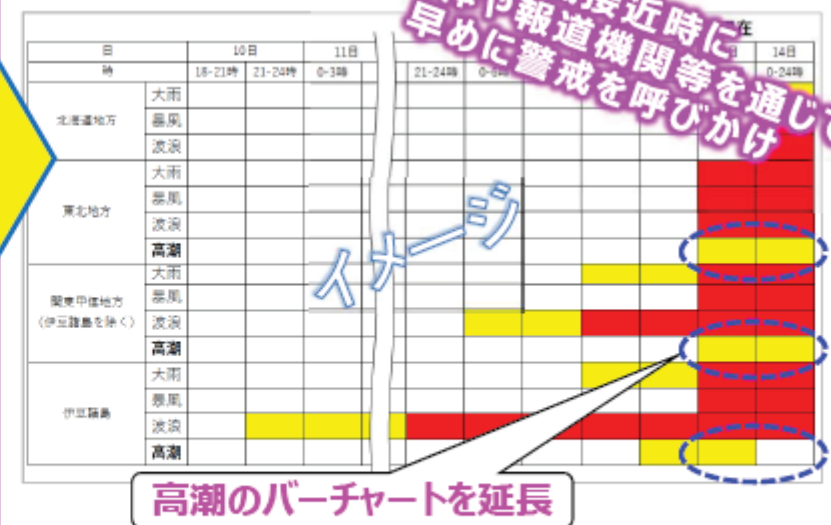
現状

- ✓ 日本付近に台風の接近・通過が予想される場合に限り、高潮災害への警戒呼びかけるため、図形式の気象情報の中で明後日までの注意報級、警報級のバーチャートを提供。



改善後

- ✓ 日本付近に台風の接近・通過が予想される場合に限り、5日先までの高潮の警報級の可能性を、図形式の気象情報等により、バーチャートで提供。



※ また、高潮については、現在は早期注意情報を提供していないことから、台風接近時に限定せずに情報提供ができるよう引き続き技術開発を進め、高潮の早期注意情報の提供に向けた検討を継続する。

■避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上

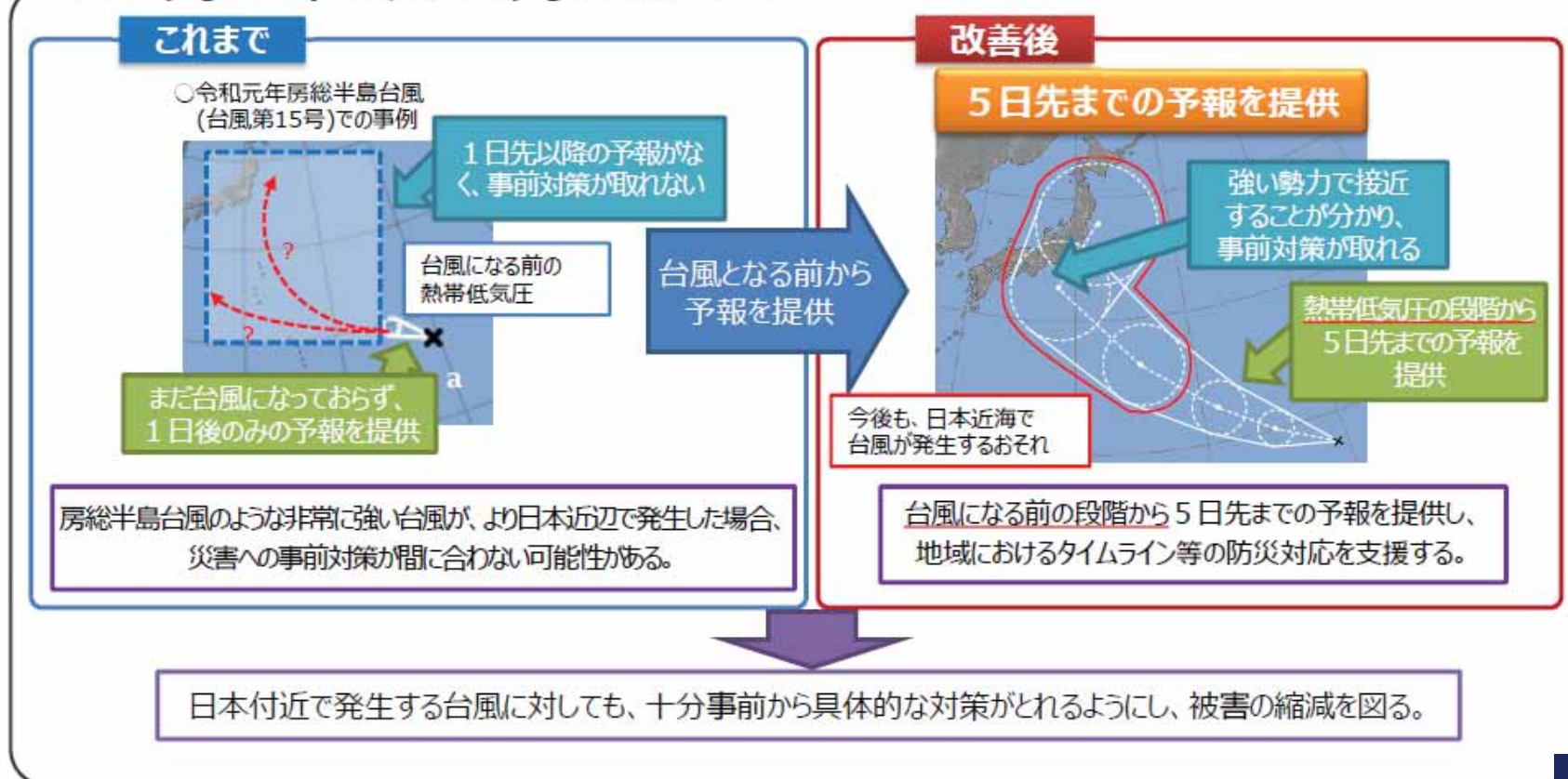
【防災気象情報の充実と気象庁HPへの掲載】

台風が発達する熱帯低気圧の予報を延長しました

【令和2年9月9日より実施】

- 台風接近時の防災行動計画（タイムライン）に沿った対応を効果的に支援するため、24 時間以内に台風が発達する見込みの熱帯低気圧の予報を、これまでの1日先までから5日先までに延長。

発達する熱帯低気圧に関する情報の充実

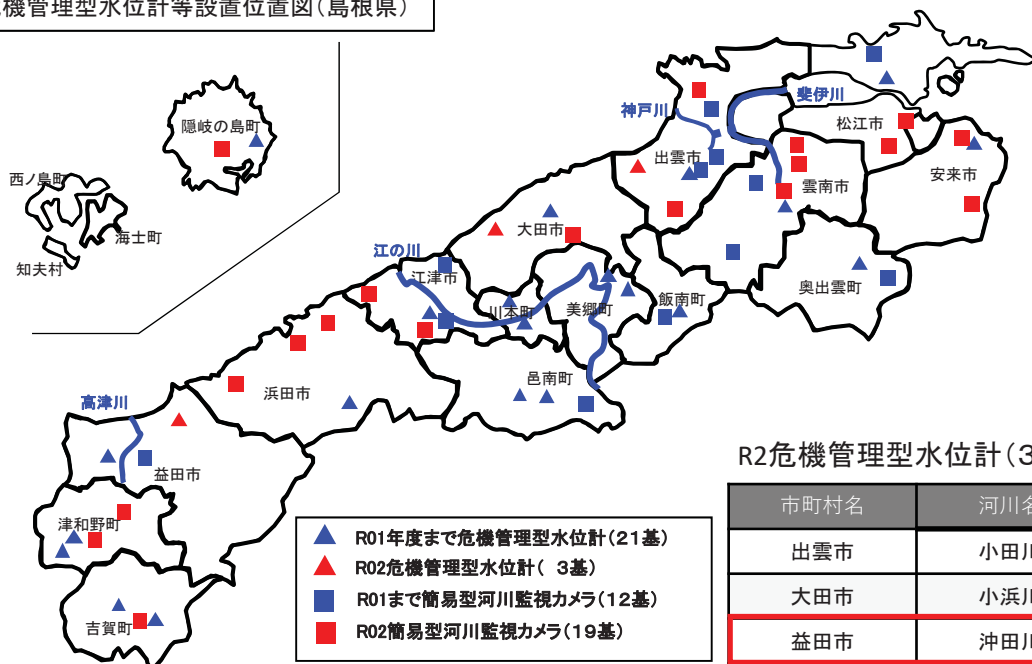


島根県

■洪水に対しリスクの高い箇所を監視する危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラの整備

○R2年度の取組みとして、危機管理型水位計3基、簡易型河川監視カメラ19基を整備（R3.3運用）。
また、過年度作成した島根県水防情報システムに関するチラシを出前講座等で継続配布。

危機管理型水位計等設置位置図(島根県)



R2河川監視カメラ(19基)

市町村名	河川名	市町村名	河川名	市町村名	河川名
松江市	意宇川(出雲郷)	出雲市	堀川(流下橋)	浜田市	三隅川(三隅)
松江市	意宇川(神納橋)	出雲市	神戸川(仁江)	津和野町	高津川(旭橋)
安来市	伯太川(安来大橋)	大田市	静間川(川合橋)	津和野町	津和野川(町田)
安来市	伯太川(弘鶴橋)	江津市	敬川(敬川橋)	吉賀町	高津川(塔尾橋)
雲南市	赤川(町上)	江津市	八戸川(江尾)	隠岐の島町	八尾川(中条)
雲南市	久野川(日の出橋)	浜田市	下府川(府中橋)	これら以外に、既設カメラ更新(17箇所)	
雲南市	斐伊川(日登)	浜田市	浜田川(浜田大橋)		

危機管理型水位計設置例



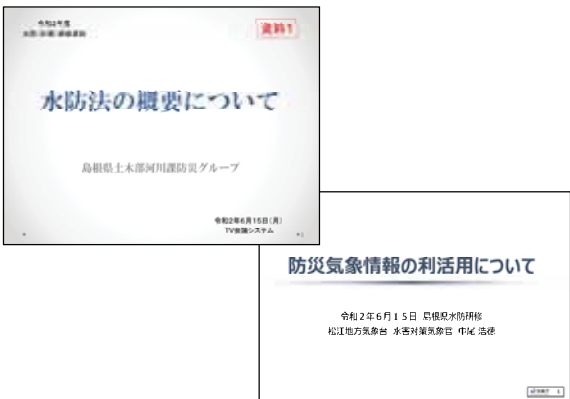
河川監視カメラ(夜間映像)



■地域の洪水特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実

○関係機関と連携して水害(防災)教育の普及啓発に務めた。

県・市町村職員向け
水防研修会の実施(島根県・松江地方気象台)



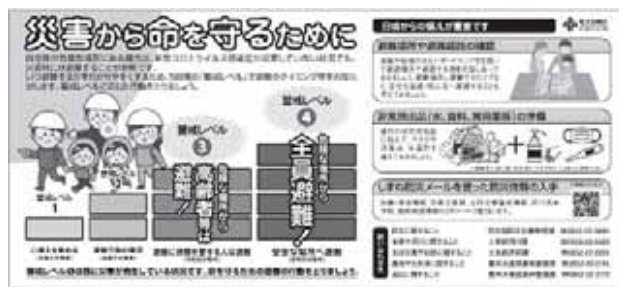
日時 令和2年6月30日(火) 9:00~12:00
場所 県庁南庁舎災害対策室ほか(Web形式)
対象 県職員 約20名
内容 水防法・島根県水防計画の概要 島根県河川課
防災気象情報の利活用 松江地方気象台

自主防災組織リーダー研修会の実施
(島根県)



日時 令和2年11月28日(土) 9:30~17:00
29日(日) 10:00~16:30
場所 益田市人権センター
対象 自主防災組織構成員、自治会関係者 約45名
内容 防災気象情報の利活用について 松江地方気象台
ワークショップ、まちあるき・災害図上訓練ほか

新聞広報による情報発信
考える県政の掲載(島根県)



日時 令和2年6月20日(土)
内容 「警戒レベル」と避難のタイミングについて
日頃からの災害の備えについて
島根県が配信する各種防災情報の入手先について

中学生を対象とした防災学習会(島根県)



日時 令和2年6月3日(水)、6月10日(水)、7月2日(木)、9月9日(水)、9月28日(月)
場所 桜江中学校、八戸川河川災害関連事業現場
対象 桜江中学校1年生 約20名
内容 川の役割・仕組み、川の歴史、浸水害等から身を守る(防災)、それらを踏まえた治水事業

保育園児等を対象とした防災学習会(島根県)



日時 ①令和2年8月26日(水)、②11月27日(金)
場所 ①平田保育園、②みなみ保育園
対象 ①3~5歳児約140名、②3~5歳児約90名
内容 ①②紙芝居による避難の重要性周知・避難する時の合言葉

江津市

■小中学校などと連携した江の川(下流)水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実

【防災出前講座】

- 市内小中学校で防災講座を実施した。
- 市役所の防災担当の仕事や災害事例の紹介、備蓄物資の確認などを行った。
- 浸水想定区域等を確認し、避難場所等を確認した。

浸水想定区域や避難場所の確認



備蓄倉庫の確認



避難所運営体験



■小中学校への防災出前講座

- | | |
|--------|-------|
| 7月2日 | 桜江中学校 |
| 9月9日 | 青陵中学校 |
| 9月28日 | 桜江小学校 |
| 10月6日 | 渡津小学校 |
| 10月7日 | 高角小学校 |
| 10月8日 | 渡津小学校 |
| 10月12日 | 渡津小学校 |
| 12月1日 | 郷田小学校 |

■参加者の感想

- ・江津市は雨の災害が多いところだという事が分かった。
- ・備蓄倉庫に水や食料が置いてあって、災害に備えられているという事がわかった。
- ・段ボールベッドやパーテーションを組み立てたことが面白かった。
- ・避難所がどこにあるか分かった。
- ・自分の家が浸水想定区域や土砂災害警戒区域にあることがわかった。



■今後に向けて

市役所の防災担当の仕事や災害の事例を紹介する事で、防災意識の醸成につながった。
来年度以降は、防災マップを元に災害を自分事として考えてもらえるような講座を計画したい。

川本町

■防災教育の推進:防災教育を実施する学校と連携し、防災に関する授業を実施

【防災授業:川本小学校】

- 防災に関する基本事項の取得を目的に、小学校4年生に防災授業を実施。
- 「自分の命は自分で守る」「早めの避難が大事」といった防災意識の普及を行った。
- 令和2年7月豪雨での江の川の写真やドローンによる映像等により水害の恐ろしさを伝えた。

■授業の概要

日 時：令和2年10月15日（木）
10:40～11:20

場 所：川本小学校

内 容：①防災について
②令和2年7月豪雨の状況等について

参加者：児 童17名
教職員2名
町職員1名

■感想（児童）

- ・命を守ることは大切だと改めて思いました。
- ・もしもの時に備え、食料を備蓄しようと思いました。
- ・避難場所の確認をしたいと思いました。
- ・自分でも準備をして災害に備えて、早めに逃げられるようにしたいです。
- ・ハザードマップのことを教えてもらって勉強になりました。

■開催の状況



■ドローンによる映像



美郷町

■水防活動の効率化及び水防体制の強化(■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施)

【内水排除用ポンプの整備及び水防団を対象とした研修会の開催】

①令和元年度(令和2年3月導入)に整備した、内水排除用エンジンポンプ(5台)の操作研修会を内水はん濫のおそれがある地域の水防団(消防団員)を対象に開催。

日時:令和2年6月21日
9:00~12:00

場所:防災公園グラウンド

内容:基本的な操作訓練、運搬方法
運用上の注意点等

参加者:水防団(消防団員)28名
ポンプメーカー技術者等

■開催時の状況



②令和2年度において、内水排除用エンジンポンプ5台を整備
(令和2年7月豪雨時における運用状況から一部仕様変更)

【諸元】 ポンプ径:150mm
最大全揚程:28m
最大吐出量:3,300ℓ/min
揚程10m…2,500ℓ/min
揚程20m…1,400ℓ/min

■7月14日内水排水作業の状況



邑南町

■ 小中学校などと連携した江の川(下流)水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実
【地域の学校を対象とした防災講座】

- 令和2年9月1日に町内にある石見東小学校と県立石見養護学校にて防災講座を実施した。
- 石見東小学校では、3年生を対象に防災について町の取り組みや、ハザードマップを見ながら自分の家から近い避難所を確認した。
- 石見養護学校では、教職員を対象に邑南町の災害や、防災の取り組みについて確認した。

石見東小学校



石見東小学校



石見東小学校



■ 参加者の意見
(小学生)

- ・ 防災について、とても役に立った。
- ・ 危険な場所とそうでないところが分かった。
- ・ 防災の情報をいっぱい知ることができた。小学校の場所が危険かどうか分かった。
- ・ 防災についてのいろいろな言葉が分かった。
- ・ 土砂災害の怖さについて勉強になった。家にかえって話をしてみたい。
- ・ 今日の勉強はおもしろかった。町の取り組みもよく分かった。
- ・ 防災のことを勉強してたくさん分かった。

■ 開催までの経緯

石見養護学校	石見東小学校
7月17日 打ち合わせ	8月18日 打ち合わせ
9月1日 防災出前講座	8月25日 打ち合わせ
	9月1日 防災出前講座

■ 今後に向けて

今回の出前講座では、過去の災害を参考に邑南町における災害の特徴や、ハザードマップの使い方について説明を行った。
 今後は、災害発生のおそれがある時の状況を時間ごとに想定し、どう行動するかをあらかじめ決めておく、避難行動計画の作成に向け説明会を行っていきたい。

○概ね5年で実施する取組に対する実施状況

令和3年1月27日時点

具体的な取組の柱		(上段)予定時期 (下段)実施状況					実施内容・実施予定内容							
事項							江津市	川本町	美郷町	邑南町	島根県	気象台	国交省	
具体的取組		H28	H29	H30	R1	R2								
①住民自らが危機を認識した的確な避難行動を行うための取組														
■洪水氾濫を未然に防ぐ対策の推進														
	・堤防整備等	S	○	○	○	○	○	R2 当初計画						江の川改修実施
		実施	●	●										江の川改修実施
■避難行動・水防活動に資する基盤等の整備														
☆ H28	・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備	M	○					R2 当初計画						
		実施	●											
	・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上	D,M					○	R2 当初計画						大雨警報・注意報(浸水害)、洪水警報・注意報基準の見直しを今年度実施し、今後も調査を行う。
		実施					● 一部							・洪水危険度分布において、本川の増水に起因する内水氾濫の危険度も確認できるよう、本川流路の周辺にハッチをかけて危険度を表示する改善を行い、令和2年5月28日から運用開始。 ・大雨特別警報から大雨警報へ切り替え後、河川水位上昇や氾濫への警戒を呼び掛ける府県気象情報(洪水予報(臨時))を、河川管理者と共同して令和2年7月4日から発表開始。 ・新たな発表指標(土砂災害における短時間指標)を用いた、大雨特別警報の全面的な運用を令和2年7月30日から開始。 ・大雨警報(浸水害)、洪水警報等の基準について、新たな災害事例を追加した評価・検証による見直しを行い、令和2年8月6日から運用開始。 ・大雨特別警報の発表基準を、警視レベルとの関連が分かりやすいよう、雨を要因とする基準に一元化し、令和2年8月24日から運用開始。 ・5日先までの高潮の警報級の可能性について、わかりやすいバーチャートを用いた図形式の気象情報等により、令和2年8月28日から提供開始。 ・24時間以内に台風に関連する見込みの熱帯低気圧の予報を、タイムライン支援のため、これまでの「1日先まで」から「5日先まで」に延長し、令和2年9月9日から運用開始。 ・気象庁ホームページの台風情報を、14か国語で9月16日から提供開始。
■想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップの作成・周知等														
	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表	A	○	○	○			R2 当初計画						H30完
		実施	●	●										H30完
	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図及び新たに設定された家屋倒壊等氾濫想定区域に基づく避難計画の見直し	E,F,G,L			○	○	○	R2 当初計画	区域を記載した防災マップを元に、地域ごとの避難計画を策定する	未定	未定			新たな地域緊急避難場所の選定を実施
		実施	● 一部	● 一部					一部地域で避難計画を見直し	未実施	浸水想定区域にある指定避難所の見直し			新たな地域緊急避難場所を選定中
	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づく避難勧告等を発令する範囲の見直し	C,E,F,G			○	○		R2 当初計画	避難勧告等の発令範囲の区域設定を検討する	見直しを検討する	町内全域の見直しを検討			対象地域に漏れの無い運用を実施
		実施	● 一部	● 一部					一部地域で見直し	未実施	区域については従前のとおりとするが、個別地域を付加して周知を行う			対象地域に漏れが無い運用を図った
	・洪水浸水想定区域内の要配慮者(社会福祉施設等)利用施設の管理者が策定する避難計画作成等				○			R2 当初計画	要配慮者利用施設に対する避難確保計画の作成支援や定住外国人に対する研修会を行う	要配慮者施設の避難計画作成に向けて支援、協議を行っていく	要配慮者利用施設の避難計画策定の支援を行う			(土砂災害警戒区域内)の要配慮者利用施設の避難計画について継続して協議を実施予定

○概ね5年で実施する取組に対する実施状況

令和3年1月27日時点

具体的な取組の柱		(上段)予定時期 (下段)実施状況					実施内容・実施予定内容						
事項		H28	H29	H30	R1	R2	江津市	川本町	美郷町	邑南町	島根県	気象台	国交省
具体的取組													
	の支援や定住外国人、観光客等を対象とした避難情報の提供	実施	● 一部				要配慮者利用施設に対する避難確保計画の作成支援を実施	避難確保計画全施設作成済み	未策定の事業所について相談と指導を実施	(土砂災害警戒区域内)の要配慮者利用施設の避難確保計画について協議をしたが、未策定の施設もあるため今後も継続して			R1実施済み

○概ね5年で実施する取組に対する実施状況

令和3年1月27日時点

具体的な取組の柱		(上段)予定時期 (下段)実施状況					実施内容・実施予定内容										
		H28	H29	H30	R1	R2	江津市	川本町	美郷町	邑南町	島根県	気象台	国交省				
☆ H28	・夜間、荒天時における避難勧告等の発令基準の作成・避難誘導体制の検討	K	予定	○	○			R2 当初計画	発令基準の作成・周知を行う	見直しを検討する	見直しを検討する	各地区自主防災組織と避難誘導体制の協議を実施					
			実施	● 一部	● 一部				未実施	未実施		1自治会に出前講座及び、協議を実施し、地域に根ざした避難誘導体制の構築を図った					
	・江の川(下流)の水害リスクを踏まえ、商工会議所等と連携した企業向け水害(防災)教育及び大規模氾濫を想定した自衛水防の講習会や訓練の実施	F,H	予定	○	○	○	○		R2 当初計画	商工会議所と実施に向けた協議を行う	商工会等と協議する	商工会等と連携する	商工会事務局と協議予定	協議会の一員として開催に協力する	講習会への参加	企業向け水害(防災)教育の実施	
			実施	● 一部					未実施	未実施		未実施	未実施	未実施(講習会及び訓練参加の依頼がなかった)	ゆめタウン江津で実施		
	・想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図に基づくハザードマップを作成し、洪水浸水想定区域内の各戸・事業所へ配付	A,E, F,G, L	予定	○	○	○	○		R2 当初計画	H31年度作成・配布	R2年度配布予定	H30.6月全戸配布	土砂災害特別警戒区域の指定を踏まえ作成予定(H32年度以降)				
			実施	● 一部	● 一部				R2年度中に作成・配布予定	R2.9配布			今年度指定完了予定のため、来年度(R3年度)に作成・配布を実施				
■多様な防災活動を含むタイムラインの作成																	
	・河川管理者、沿川自治体、住民、交通サービス、道路管理者等と連携したタイムラインの拡充	B	予定		○	○	○		R2 当初計画	関係機関とタイムライン拡充を検討する	関係機関とタイムラインの拡充を検討する。	R1年度中において研修会を開催・今後も沿川地域において研修会を計画する	未定	協議会の一員として拡充に協力する	水害タイムラインの確認・調整。水害対応タイムラインにおいて防災気象情報を有効に活用する観点から改善を図る。	多機関連携型タイムラインの運用及び検証・見直し	
			実施	● 一部						関係機関と連携したタイムラインを作成	減災協議会内で実施	住民向けの研修会は実施できなかった(感染症)	R2.7月豪雨を受け、多機関連携型タイムラインの運用及び検証・見直し	協議会の一員として拡充に協力	江の川下流タイムラインにおいて、拡充された洪水予報等、新たな防災気象情報の追加を助言した	多機関連携型タイムラインの運用及び検証・見直しを行った。	
	・避難勧告に着目したタイムラインに基づく、より実践的な総合防災訓練等の実施	B	予定		○	○	○		R2 当初計画	タイムラインを活用した訓練の実施を検討する	自主防災組織を対象とした避難訓練を実施予定	ハザードマップにタイムラインを記載するなど、住民周知と防災訓練等の活用	各自治会で避難訓練を実施予定	協議会の一員として開催に協力する	各市町の防災訓練シナリオへの助言	風水害対策訓練で実施	
			実施	● 一部						未実施	6/15情報伝達訓練実施	訓練は実施できなかった(感染症の影響)	4カ所で防災出前講座を実施	情報伝達訓練の実施(5.12)	未実施(各市町村からの依頼がなかった)	風水害対策訓練で実施	
■防災教育や防災知識の普及																	
	・江の川(下流)本川において、堤防の越水時や決壊時における流水の破壊力に関するイメージ動画の作成・公開	A,B, F	予定		○				R2 当初計画								出前講座で実施
			実施	● 一部													他河川の堤防越水状況を出前講座で使用
	・「川の防災情報」や地上デジタル放送のデータ放送の活用促進のための周知	H,I,S	予定	○	○	○	○		R2 当初計画								出前講座で実施
			実施	●	●												R2.9.30 江津市立郷田小学校で実施
	・小中学校などと連携した江の川(下流)水系の洪水の特徴を踏まえた水害(防災)教育の普及・充実	H	予定		○	○	○		R2 当初計画	小中学校と連携し、防災教育の普及を検討する	小学校、中学校、高校での出前講座、自主防災組織向けの防災学習会を実施予定	県等と連携し小中学校での出前講座を実施予定	各地区で防災学習会を実施予定(住民対象)	協議会の一員として防災教育の普及・充実に協力する	出前講座等の実施		出前講座等の実施
			実施	● 一部	● 一部					出前講座により小中学校と連携し、防災教育を実施	10/15川本小学校	講座等は実施できなかった(感染症の影響あり)	R2.9.11に石見養護学校、石見東小学校にてそれぞれ防災学習会の実施	未実施	未実施(講師派遣の依頼がなかった)		R2.9.30 江津市立郷田小学校で実施

○概ね5年で実施する取組に対する実施状況

令和3年1月27日時点

具体的な取組の柱		(上段)予定時期 (下段)実施状況					実施内容・実施予定内容											
							事項					江津市	川本町	美郷町	邑南町	島根県	気象台	国交省
							具体的な取組											
☆ H29	・住民の水防災意識の向上に資するイメージ動画等のツールを活用した、より実践的な防災教育の実施	B,H,I	予定		○	○	○	○	R2 当初計画	イメージ動画等を活用した住民向け出前講座を実施する	防災訓練などで活用する	防災教育等においてイメージ動画の活用を検討	防災訓練や出前講座などで動画を活用する。	協議会の一員として開催に協力する	出前講座等の実施	出前講座等の実施		
			実施	● 一部	● 一部					未実施	未実施	地区防災計画策定支援研修をオンラインで実施(感染症の影響あり)	未実施	自主防災組織リーダー研修(11.28~29) 防災士養成研修(2/13~14開催予定)	未実施(講師派遣の依頼がなかった)	未実施(講師派遣の依頼がなかった)		
☆ H29	・プッシュ型の洪水予報等の情報発信	I	予定		○	○			R2 当初計画	(配信)	(配信)	(配信)	(配信しない)			—		
			実施		●	●				(配信)	(配信)	(配信)	(配信しない)			令和2年7月豪雨で発信		

②氾濫特性を踏まえた効果的な水防活動

■避難行動・水防活動に資する基盤等の整備

☆ H28	・洪水に対しリスクの高い箇所を監視する簡易水位計等の整備(再掲)	M	予定	○		○	○	○	R2 当初計画								簡易カメラ整備	
			実施	●														簡易カメラ4箇所整備
	・避難行動等に資する情報提供設備の整備及び水位予測の精度向上(再掲)	D,M	予定				○		R2 当初計画									簡易カメラ整備
			実施															簡易カメラ4箇所整備
	・樋門の無動力化の推進	T	予定			○	○	○	R2 当初計画									順次整備
			実施															江の川において1箇所実施

■水防活動の効率化及び水防体制の強化

☆ H28 ~	・消防団員と兼任する水防団員への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	L,M, N	予定	○	○	○	○	○	R2 当初計画	消防団により随時実施	消防団により随時実施	消防団により随時実施	消防団各分団により随時実施予定				
			実施	●	●						消防団により随時実施	消防団により随時実施	確認は実施、伝達訓練は未実施	消防団各分団により随時実施済			
☆ H28 H29	・江の川(下流)本川の重要水防箇所等洪水に対しリスクが高い区間について消防団員と兼任する水防団員や地域住民が参加する合同点検を実施	H,M, N	予定	○	○	○	○	○	R2 当初計画	実施予定	消防団により随時実施	国交省と共同点検実施予定 消防団により随時実施予	消防団員により随時実施				合同点検を実施
			実施	●	●						未実施	消防団により随時実施	予定のとおり実施	未実施			
☆ H28	・水防活動の知識習得と技術力向上のため、総合防災訓練等と合わせて、水防専門家を講師とした講習会を実施	N	予定		○	○	○	○	R2 当初計画	未定	各分団の訓練に併せて実施	消防団分団毎の水防訓練	各分団毎の訓練に併せて実施予定	協議会の一員として開催に協力する	講習会への参加		講習会の実施
			実施	● 一部	●						未実施	未実施	水防活動訓練の一環として、内水排除訓練を実施(感染症の影響あり)	未実施	未実施	未実施(講師派遣の依頼がなかった)	未実施

○概ね5年で実施する取組に対する実施状況

令和3年1月27日時点

具体的な取組の柱		(上段)予定時期 (下段)実施状況					実施内容・実施予定内容									
							江津市		川本町		美郷町	邑南町	島根県	気象台	国交省	
							H28	H29	H30	R1	R2					
☆ H28	・備蓄水防資機材情報の共有及び非常時における相互支援方法の確認	0	予定	○	○	○	○	○	R2 当初計画	水防連絡会にて共有予定	R2年水防計画により共有する	水防計画による	H31年邑南町水防計画を策定し、情報共有を図る	令和2年島根県水防計画策定	/	水防連絡会等にて確認・共有
		実施	●	●						水防連絡会にて共有予定	R2.7水防計画により共有	共有済み	未実施	令和2年度島根県水防計画策定	/	水防連絡会等にて確認・共有
☆ H29	・市町村舎の水害時における対応について業務継続計画の策定	P	予定		○				R2 当初計画	随時見直しを行う	/	/	-	/	/	/
		実施			●					水害に特化したものではないが策定済	/	/	-	/	/	/
☆ H28 ～	・樋門操作に関する人員の確保と操作訓練の実施	Q	予定	○	○	○	○	○	R2 当初計画	樋門操作員研修会を出水期前までに実施予定	樋門等操作員研修会を実施予定	感染症拡大防止のため中止・書面による研修を計画	操作担当職員により6月までに実施予定	協議会の一員として開催に協力する	/	樋門操作員研修会を出水期前までに実施予定
		実施	● 一部	●						未実施	未実施	実施	R2.6月に担当職員により実施	未実施	/	操作要領を樋門操作員へ配布した
③浸水を一日も早く解消するための排水対策																
■排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施																
☆ H30	・排水施設の情報共有、排水手法の検討を行い、大規模水害を想定した排水作業準備計画(案)の作成	R	予定			○	○		R2 当初計画	排水作業実施計画の作成について検討	未定	排水施設の点検、排水方法の検討を行う 消防団による排水施設 例点検実施 排水ポンプ	未定	協議会の一員として作成に協力する	/	訓練または災害対応後のふりかえり(検証)を通じて、課題を抽出し、排水作業準備計画の見直し
		実施								未実施	川本排水機場操作訓練を実施	R3出水期前までに作成予定	R2.7豪雨による江の川増水を踏まえ、排水作業手順等の見直しを実施	未実施	/	風水害対策訓練で検証
	・排水作業準備計画に基づく排水訓練の実施	R	予定					○	R2 当初計画	上記計画策定後、訓練実施の検討を行う	未定	未定	未定	-	/	出水期を目的に災害対策用機械を用いた排水訓練を実施予定
		実施		● 一部							未実施	未実施	水防活動訓練の一環として、内水排除訓練を実施(感染症の影響あり)	排水作業手順等の見直しに基づき、担当職員による作業手順の確認を実施	/	排水ポンプ車を用いた排水訓練を実施